

## 人間社会学科の人材養成の目的

### 【学部の人材養成の目的】

未来デザイン学部は、現代社会が直面する問題解決のためのコミュニケーションスキル・マネジメントスキル・ITスキルに関して優れた専門性を有し、多様な価値観に基づく豊かさの創造に寄与できる人材を養成することを目的とする。

### 【学科の人材養成の目的】

人間社会学科では、社会生活を送るうえで必要となる知識、理解、汎用的技能、態度・志向性、コミュニケーション能力やリーダーシップ、創造的思考力の修得とともに、経営学、社会学、心理学の各分野に関する専門的・横断的知識、及び生涯成長し続けるための基盤となる生涯学習能力を有し、地域社会に貢献する次のような人材を養成する。

- ①人、モノ、お金、情報の活用を学び、マネジメント力とコミュニケーション力を有した地域社会に貢献できる人材
- ②社会に対する幅広い視野と知識、社会調査のスキルをもって現代社会を読み解き、新しい地域社会や価値の創造に貢献できる人材
- ③対人関係及び人間の悩みや問題について、「こころ」を幅広い観点から学び、その理解をもとに「こころの時代」の多様なニーズに応える人材

## 人間社会学科ディプロマ・ポリシー

人間社会学科は、「科学的市民」の育成という教育理念のもとに以下の資質や能力を身につけ、所定の授業科目を履修して卒業に必要な単位を修得した学生に、学士（工学）の学位を授与します。

### 1. コミュニケーション力

論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。

### 2. 課題発見解決力

人間及び社会に関する知識を活かして、現代社会の課題を解決することができる。

### 3. 自らを律し、学び続ける力

目標達成のための計画を立案・遂行する能力を有し、社会の変化に柔軟に対応できるよう知識・能力を自主的・継続的に身につけることができる。

### 4. 多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力

文化・社会の多様性を理解できる幅広い教養と豊かな人間性を有し、他者と協力して目標達成に向けて貢献できる。

### 5. 専門的知識・技能を修得し、実践する力

人文社会科学の専門的な知識やスキルを理解・修得し、それらを現代社会の分析や課題解決に向けた取り組みに応用して検討することができる。

### 6. 総合力

修得した能力を総合的に活用して、社会に存在する諸問題に対して自ら課題意識を持ち、地域社会の発展のために実践的に研究、調査活動を行うことができる。

## 人間社会学科カリキュラム・ポリシー

人間社会学科では、HUS スタンダード科目、学部共通科目、専門教育科目の有機的な結合によって、経営学、社会学、心理学の各分野の専門知識と専攻分野を通じて学士力を培うことを目指したカリキュラムを設計します。このことを明確にするために、ディプロマ・ポリシーの各項目を達成するために必要な授業科目の流れや、各項目と授業の整合性・関連性を体系的に理解できるようカリキュラム・ツリーを作成します。さらに、教員団はその組織的関与により、常にカリキュラムの点検評価、及び改善を行います。学修成果やカリキュラムの点検評価の方針をアセスメントプランとしてまとめています。

1. 基盤能力の修得に向けて①コミュニケーション力、②課題発見解決力、③自らを律し、学び続ける力、④多様な視点から物事を捉え、異なる意見を理解する力を養う HUS スタンダード科目を配置します。
2. 専攻分野に必要な基本スキルを育成するための HUS スタンダード科目、学部共通科目を配置し、領域ごとに最適化された専門知識・技能修得のための専門教育科目を配置します。
3. 基盤能力と専門的知識・技能に関連する科目を体系的、効率的に修得できるよう配置します。
4. 自ら学ぶ力の醸成や能動的学修をサポートするため、充実した学内 LAN 環境、e-learning 環境などの優れた IT 環境を提供します。
5. 現代社会の様々な課題に対応する力を育成するため、社会全般に対する基本的知識を身につけると同時に、経営学・社会学・心理学の三分野の最新かつ高度な知識及び技能を学ぶことのできる専門教育科目を配置します。
6. 次代の社会を担う人材として実践的な経験を積むため、各科目に現代社会の様々な課題を題材として取り入れ、少人数グループで行う演習科目や実験科目、フィールドワーク科目等を配置します。
7. 各授業科目の成績評価については、成績評価ガイドラインに則り、厳格かつ公正に行います。
8. 学生の学修成果については、アセスメントプランに定めた方法及び収集した情報に則り、評価します。

# 人間社会学科 アドミッション・ポリシー

## ① 基本方針

グローバル化や少子高齢化、デジタル化が進展し、世の中のシステムや価値観が多様化、複雑化する社会情勢の中で、変化に柔軟に対応し、自律した職業人として活躍できる人材への社会的ニーズがあらゆる業種において高まっています。また、仕事のみならず地域社会への貢献、健康で自分らしい生き方の実現を通し、これからの社会の新しい豊かさの創造に寄与する人材の育成もますます希求されています。

人間社会学科では、このような時代の要請に応え、経済の基盤となる経営学、地域社会の発展の基盤となる社会学、人間関係の基盤となる心理学の3つの専攻領域を設け、わが国及び北海道の経済産業や地域社会の活性化を担う次世代の人材を育成します。

そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

## ② 求める人材像と学力の3要素

### 求める人材像

求める人材像	知識 技能	思考力 判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
わが国及び北海道の新しい市民社会の創造に向けて積極的に活動する意欲を持つ人	△	○	◎
人間関係に強い関心を持ち、地域の人々との関わりの中で社会性を高める意欲を持つ人	△	○	◎
各専攻の専門分野を学ぶための基礎学力を有し、高い勉学意欲のある人	◎	○	△

## ③ 学力の3要素と求める多元的な評価

### 学力の3要素

知識・技能	→	学力試験	調査書	発表	推薦書	面接	口頭試問
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	調査書	発表	課題提出	面接	
主体性・多様性・協働性	→	推薦書	面接	自己推薦書			

## ④ 入学者選抜方法における評価の比重

入学者選抜方法	学力試験	調査書	発表	課題提出	推薦書	面接	自己推薦書	口頭試問
総合型選抜	△	—	◎	—	—	○	△	—
学校推薦型選抜(系列校)	—	○	—	○	○	◎	—	△
学校推薦型選抜(指定校)	—	○	—	—	○	◎	○	△
学校推薦型選抜(公募)	△	△	—	—	○	◎	○	—
自己推薦型選抜	○	△	—	—	—	◎	○	—
一般選抜[前期・後期学力型]	◎	—	—	—	—	—	—	—
一般選抜[後期総合評価型]	◎	△	—	—	—	○	—	—
一般選抜(共通テスト利用選抜)	◎	—	—	—	—	—	—	—
外国人留学生選抜	○	—	—	—	—	◎	—	—

## ⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・個人及び個人を取り巻く社会を理解し、その諸問題を解決するための幅広い分野の基礎知識を習得していること。
- ・高等学校等において、明確な目的意識を持って主体的に学ぶ姿勢を経験していること。
- ・それぞれの専攻(経営学、社会学、心理学)において必要な基礎学力を有していること。

※記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。